

第51期第2四半期(2022年5月期)

# 決算説明資料

2022年1月14日  
タケダ機械株式会社  
証券コード：6150

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

# 2022年5月期第2四半期の決算概要 (連結損益計算書)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度又は対予想値との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異		
売上高	2,083	1,534	+548	+35.7%	↗
営業利益	119	19	+99	+500.7%	↗
経常利益	142	66	+76	+114.7%	↗
(親会社株主に帰属する) 四半期純利益	90	47	+43	+91.6%	↗

	当年度 実績値	当年度 予想値	対予想値との差異		
売上高	2,083	1,882	+201	+10.7%	↗
経常利益	142	18	+124	+694.3%	↗

## 【前年度との主な要因】

前年度 (新型コロナウイルス感染症の影響、設備投資抑制等) からの反動

- 企業の設備投資が回復基調
- 大型の建設需要等 (端境期の終わり)

## 営業外収益/営業外費用の増減

- 営業外収益の増減  $\Delta 30$   
→ 助成金収入の減少等
- 営業外費用の増減  $\Delta 7$  (損失の減少)  
→ 会計基準の変更等

## 【予想値との主な要因】

前年度からの反動が当初の想定より強い

- 底堅い継続的な内需
- 設備投資に対する補助金の下支え
- 経費の削減及び助成金収入

# 2022年5月期第2四半期の決算概要 (連結貸借対照表：資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異		
流動資産	4,011	3,896	+114	+2.9%	↗
固定資産	2,447	2,455	△8	△0.3%	↘
(有形固定資産)	(1,923)	(1,957)	(△34)	(△1.8%)	↘
(無形固定資産)	(139)	(146)	(△6)	(△4.7%)	↘
(投資その他)	(384)	(351)	(+33)	(+9.4%)	↗
資産計	6,458	6,352	+106	+1.7%	↗

(注) 前年度実績値は、年度末の値であります。

## 【流動資産】

### (増加の主な要因)

- ・現金及び預金 +369

### (減少の主な要因)

- ・受取手形及び売掛金 △148
- ・棚卸資産 △80

## 【固定資産】

### (増加の主な要因)

- ・繰延税金資産 +12

### (減少の主な要因)

- ・建物及び構築物 △7
- ・無形固定資産 △6

# 2022年5月期第2四半期の決算概要

## (連結貸借対照表：負債及び純資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異		
			絶対値	増減率	
負債	2,326	2,281	+45	+2.0%	↗
(流動負債)	(1,428)	(1,610)	(△181)	(△11.3%)	↘
(固定負債)	(897)	(670)	(+226)	(+33.8%)	↗
純資産	4,132	4,071	+60	+1.5%	↗
(株主資本)	(4,149)	(4,087)	(+61)	(+1.5%)	↗
(包括利益)	(△16)	(△16)	(△0)	—	↘
負債・純資産計	6,458	6,352	+106	+1.7%	↗

### 【負債】

#### (増加の主な要因)

- 長期借入金 +263  
(1年内返済予定の長期借入金を含む)
- 支払手形及び買掛金 +81
- 未払法人税等 +63
- 賞与引当金 +5

#### (減少の主な要因)

- 短期借入金 △400
- 役員賞与引当金 △6

### 【純資産】

#### (増加の主な要因)

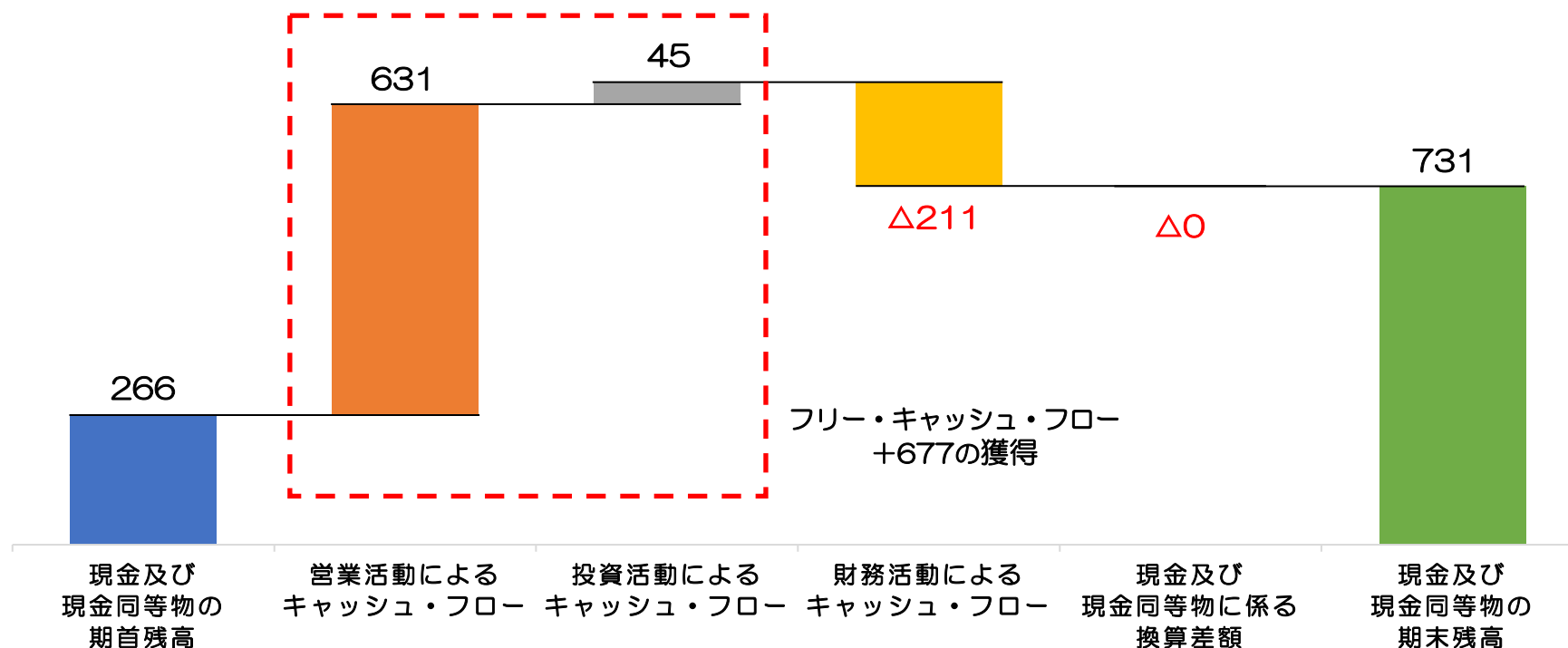
- 利益剰余金 +62

(注) 前年度実績値は、年度末の値であります。

# 2022年5月期第2四半期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)①

当第2四半期における現金及び現金同等物の増減推移

(単位：百万円未満切捨て)



(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

# 2022年5月期第2四半期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)②

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
期首残高	266	465		
営業活動によるCF	631	122	+509	+415.9%
投資活動によるCF	45	87	△42	△47.9%
財務活動によるCF	△211	△58	△153	—
換算差額	△0	△0	+0	—
期末残高	731	616		

(注) 1. 表中に記載の「CF」とは、「キャッシュ・フロー」を略したものであります。  
2. 右記に記載の内容は、対前年度との差異についての記載であります。

## 【営業活動によるキャッシュ・フロー】 (増加の主な要因)

- ・棚卸資産の増減額 +276
- ・仕入債務の増減額 +199
- ・税金等調整前四半期純利益 +66
- ・法人税等の支払額又は還付額 +63
- ・賞与引当金の増減額 +45

## (減少の主な要因)

- ・売上債権の増減額 △261

## 【投資活動によるキャッシュ・フロー】 (減少の主な要因)

- ・定期預金の支出入 △46

## 【財務活動によるキャッシュ・フロー】 (増加の主な要因)

- ・長期借入金の支出入 +453
- ・配当金の支払額 +45

## (減少の主な要因)

- ・短期借入金の支出入 △650

# 2022年5月期第2四半期の決算概要 (直近の業績推移、当期の業績予想)①

(単位：百万円未満切捨て)

	直近の業績推移及び当期の業績予想数値					当期 第2四半期
	2018年	2019年	2020年	2021年	※当期予想	
売上高	5,374	6,141	5,056	3,500	4,200	2,083
経常利益	661	861	542	178	240	142
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	451	640	350	118	155	90

※2022年1月14日付  
公表の予想数値

## 【当期の見通しについて】

### (プラス要因)

#### 底堅い継続的な内需

- 都市圏の大型鋼構造物プロジェクト
- 国土強靱化基本計画によるインフラ需要
- 物流倉庫、データセンター等の建設

### (マイナス要因)

#### 新型コロナウイルス感染症の影響

- 徐々に縮小しながらも継続する見通し

#### 製造部品の長納期化

- 半導体以外の製造部品にも影響

#### 鋼材価格の高騰

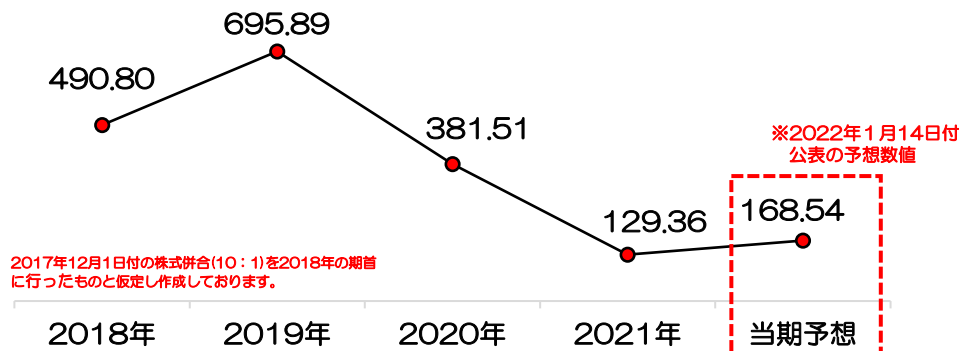
- 外需の高まり→品薄の状態へ



# 2022年5月期第2四半期の決算概要 (直近の業績推移、当期の業績予想)②

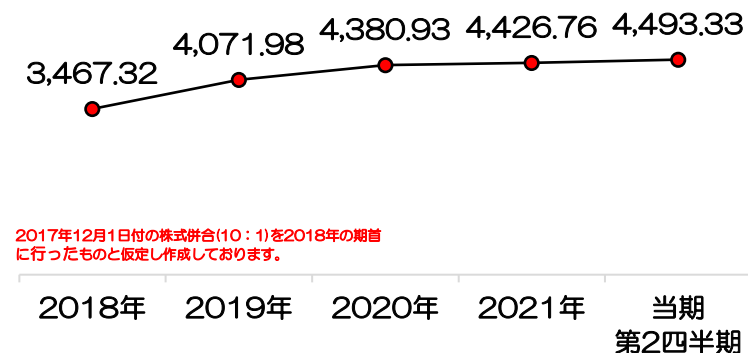
1株当たり当期純利益

(単位：円)



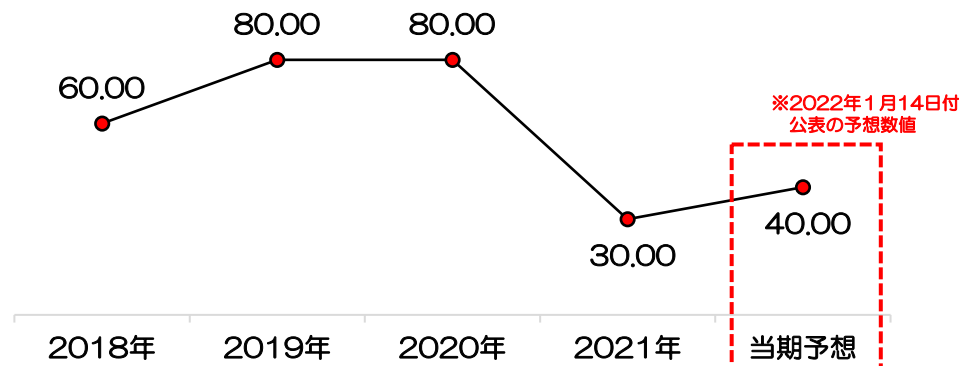
1株当たり純資産

(単位：円)



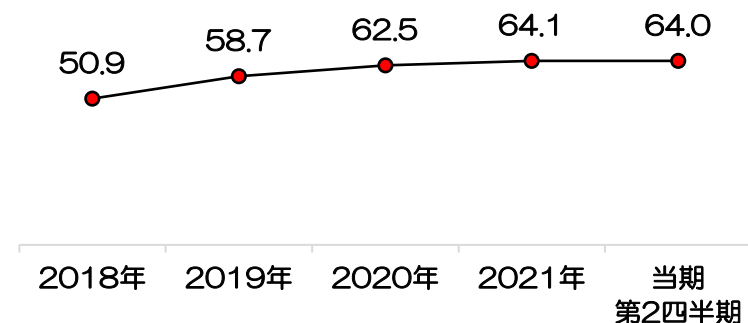
1株当たり配当金

(単位：円)



自己資本率

(単位：%)



# 2022年5月期第2四半期の決算概要 (直近の現金及び現金同等物の推移)

(単位：百万円未満切捨て)

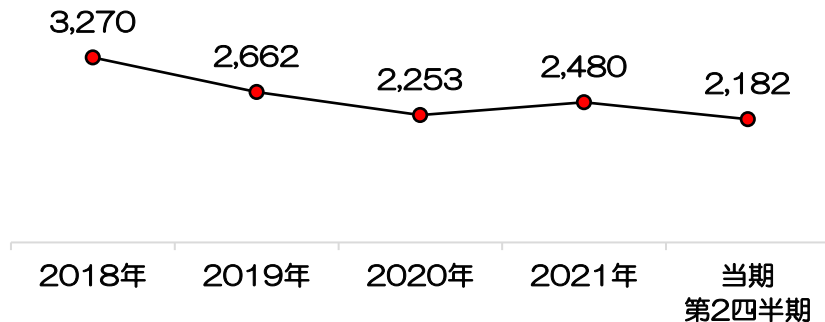
	直近の現金及び現金同等物の推移				
	2018年	2019年	2020年	2021年	当期 第2四半期
期首残高	338	206	438	465	266
営業活動による キャッシュ・フロー	407	769	386	△138	631
投資活動による キャッシュ・フロー	△45	10	△281	8	45
財務活動による キャッシュ・フロー	△492	△548	△77	△67	△211
換算差額	△1	0	△0	△0	△0
期末残高	206	438	465	266	731
フリー・キャッシュ・ フロー	362	779	105	△130	677

(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

# 2022年5月期第2四半期の決算概要 (直近の期末株価、各利益率等の推移)

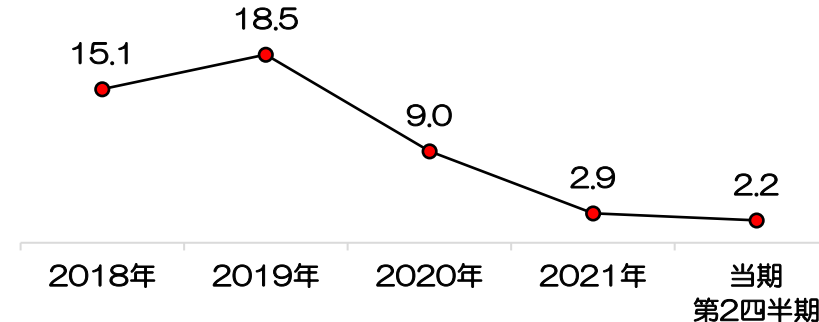
期末日の株価

(単位：円)



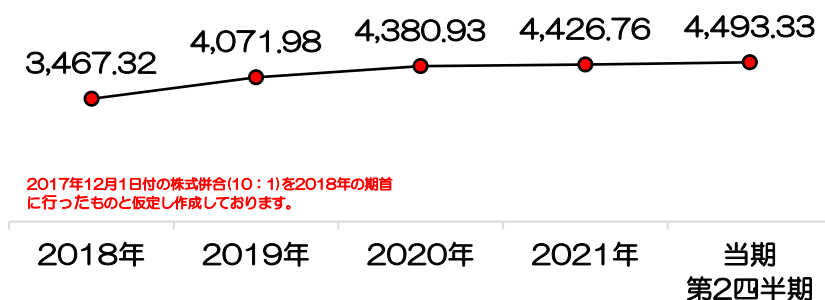
自己資本当期純利益率

(単位：%)



※(参考) 1株当たり純資産

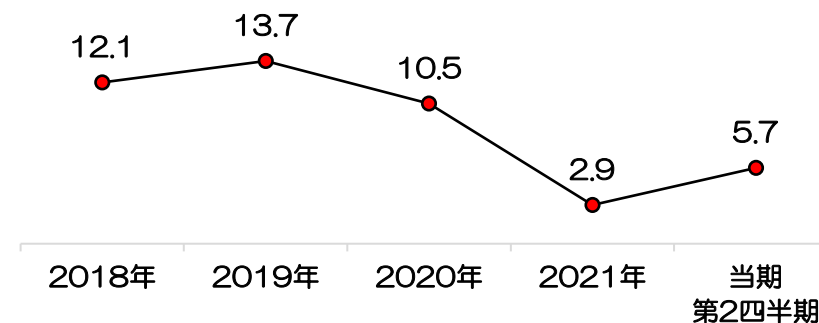
(単位：円)



2017年12月1日付の株式併合(10:1)を2018年の期首に行ったものと仮定し作成しております。

売上高営業利益率

(単位：%)



# HUMAN HEART

お客さまそれぞれの、課題に corres える加工システムをご提案します。